

平成28年9月

## A. T. M. Abdul Kader 学位論文審査要旨

主 査 辻 谷 俊 一

副主査 廣 岡 保 明

同 齊 藤 博 昭

### 主論文

Intra-abdominal complications after curative gastrectomies worsen prognoses of patients with stage II-III gastric cancer

(ステージII-III胃癌患者における根治的胃切除術後の腹腔内合併症は生命予後を悪化させる)

(著者：A. T. M. Abdul Kader、村上裕樹、吉本美和、大西一成、黒田博彦、松永知之、  
福本陽二、高野周一、徳安成郎、尾崎知博、齊藤博昭、池口正英)

平成 28 年 Yonago Acta medica 59 巻 210 頁～216 頁

### 参考論文

1. Prognosis of patients with gastric cancer who underwent proximal gastrectomy  
(噴門側胃切除術を施行した胃癌患者の生命予後)

(著者：池口正英、A. T. M. Abdul Kader、高屋誠吾、福本陽二、尾崎知博、齊藤博昭、  
建部茂、若月俊郎)

平成 24 年 International Surgery 97 巻 275 頁～279 頁

2. Usefulness of palliative prognostic score in the treatment of patients with non-resectable gastric cancer

(切除不能胃癌患者の治療における緩和予後スコアの有用性)

(著者：池口正英、A. T. M. Abdul Kader、吉本美和、高屋誠吾、渡邊浄司、福本陽二、  
尾崎知博、齊藤博昭、建部茂、若月俊郎)

平成 25 年 Molecular and Clinical Oncology 1 巻 253 頁～256 頁

3. Changes in standard treatments and postoperative outcomes for advanced gastric cancer at one institute over an 11-year period

(一機関での 11 年間における進行胃癌に対する標準治療と術後成績の変化)

(著者：A. T. M. Abdul Kader、宮谷幸造、高屋誠吾、松永知之、福本陽二、尾崎知博、  
齊藤博昭、大谷眞二、若月俊郎、池口正英)

平成 27 年 Yonago Acta medica 58 巻 77 頁～80 頁

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、鳥取大学医学部附属病院で根治的胃癌切除術を施行されたステージⅡ-Ⅲの胃癌患者を対象に、術後腹腔内合併症が予後に与える影響を後方視的に検討したものである。その結果、術後腹腔内合併症を発生した群では、発生しなかった群に比べて有意に予後が不良であったこと、術後に補助化学療法を開始するまでの期間が有意に延長していたことが示された。また、腹腔内合併症の発生が年齢、腫瘍の深達度、リンパ節転移の有無とともに独立した予後因子であることも示された。本論文の内容は、胃癌患者において術後合併症は単に術後早期のQOLを損なう因子だというだけでなく、長期的な治療戦略の上でも重視されるべき因子であることを示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。